

220
27
1

準
貴

史婦宗論物論

全

久保宗海物語



我れ志を成くらん海入るるがよそよ

海を百さのよおしひきかかんらんらん

名お世末と成しつる色も伝はと

尋ねるよ親するる身ん相としじきと

きくめんらんらんらんらんらんらんらん

あふとかなれん都者よよらんらんらん

人々人々 世にけりてはしるる世なるを
くらしむる世にけりてはしるる世なるを
なほしあつてはしるる世にけりてはしるる
ありたりし世にけりてはしるる世にけりてはしるる
去獨來も世にけりてはしるる世にけりてはしるる
てはしるる世にけりてはしるる世にけりてはしるる
これ世にけりてはしるる世にけりてはしるる

世にけりてはしるる世にけりてはしるる
世にけりてはしるる世にけりてはしるる

世にけりてはしるる世にけりてはしるる
世にけりてはしるる世にけりてはしるる
世にけりてはしるる世にけりてはしるる

世にけりてはしるる世にけりてはしるる
世にけりてはしるる世にけりてはしるる
世にけりてはしるる世にけりてはしるる

Handwritten text in a cursive script, likely a form of Urdu or Persian. The text is arranged in approximately 10 horizontal lines across the page. The script is fluid and connected, with some characters appearing to be ligatures. There are some small annotations or marks above certain characters, possibly indicating diacritics or specific grammatical markers.

Handwritten text in a cursive script, likely a form of Urdu or Persian. The text is arranged in approximately 10 horizontal lines across the page. The script is fluid and connected, with some characters appearing to be ligatures. There are some small annotations or marks above certain characters, possibly indicating diacritics or specific grammatical markers.

あつきのなる傷もあつしこゝろ一念祓
ゆるくゆるくを罪現世すは来好
けし清浄去とらるる 女も又日蓮上
人のあつれとくまうしては花妙思
いつさき又のまことちのどあん
深遠花袖相遍照於十方微妙海
法花具相さすこと新成は建ん

る何れも男も教化けりて
しとる婦も二世とぶらへん
どよよとほむとあつと道
のてあつとる婦れつとあつと
とあつとる婦れつとあつと
らつとる婦れつとあつと
果由花とあつとる婦れつとあつと

物成は生も穢く己も穢く樂み樂み
命とて生かすも命とて死かすも命
男のありてと女とてありては
去る所無きなりとてありては
獄ありてありてありては
その川ありてありてありては
いへ伊りありてありてありては

今此三界皆是我とてありては
是も昔よりありてありてありては
是れ我とてありてありてありては
くも我とてありてありてありては
はるかに命とてありてありては
是も昔よりありてありてありては
いへ伊りありてありてありては

いへんもあはれさういふおのゝこも
まげて念舟より始つて十一と教
女園とま唯深き道おははら傍とま
しきりたてふこも海にあらん
ぞくをいひのしきりておのゝこ
は死にゆくも海のおもひを
いへんもあはれさういふおのゝこも
まげて念舟より始つて十一と教

おのゝこもあはれさういふおのゝこも
まげて念舟より始つて十一と教
女園とま唯深き道おははら傍とま
しきりたてふこも海にあらん
ぞくをいひのしきりておのゝこ
は死にゆくも海のおもひを
いへんもあはれさういふおのゝこも
まげて念舟より始つて十一と教

女園てちいさくはなるといふていふか
 念仏とせむと教化は本尊とてま
 花のつゆのさしよのうらみとてあは
 あしきんれあはる大海よりあ
 中しをては國は海客のいあらん
 東の滴とあはるいと初受生れあ
 色いりあはるせんとりあはるといふ

佛は佛のたはるる人及にさるる人
 にも流たはるる人おのれを
 勝なり人毎にたはるる人
 といふ

かくあはるる人
 中てあはるる人
 中てあはるる人

わ

あつらひしむらじのつせりきり

我もあつらひしむらじ

と清姫欲慎惚よふらひあはれ

あつらひしむらじのつせりきり

とあつらひしむらじ

新しゆらむらじ

あつらひしむらじ

あつらひしむらじ

あつらひしむらじ

あつらひしむらじ

あつらひしむらじ

あつらひしむらじ

あつらひしむらじ

海地のせくらんをたねはよき

こゝろゆるいりひん娘はせよ其ひ我

我ん我を我擗と擗

海地のひんをたねはよき

とあひひんをたねはよき

難とみる海地一はよき

何のあひひんをたねはよき

あひひんをたねはよき

あひひんをたねはよき

我んをたねはよき

らんをたねはよき

らんをたねはよき

らんをたねはよき

らんをたねはよき

を名浄土なうみやうといふはなりなるなりなりなりなりなりなり
男おとこ男おとことしていふはなりなりなりなりなりなりなりなり
法ほふ法ほふなりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなり
をいふ世界せかいといふはなりなりなりなりなりなりなりなり
空そら空そらなりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなり
何なに何なにといふはなりなりなりなりなりなりなりなりなりなり
法ほふ法ほふなりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなり

すすといふはなりなりなりなりなりなりなりなりなりなり
云い云いといふはなりなりなりなりなりなりなりなりなりなり
かかかかといふはなりなりなりなりなりなりなりなりなりなり
ゆゆゆゆといふはなりなりなりなりなりなりなりなりなりなり
ありありありありといふはなりなりなりなりなりなりなりなりなりなり
いいいいといふはなりなりなりなりなりなりなりなりなりなり
法ほふ法ほふといふはなりなりなりなりなりなりなりなりなりなり

つは句が丸持とあつていふ
つ切官を専ら守来海城は定如
是刹とくあつていふ
まゝとて推して海城は
やれよとちりちり
主地よもあつて後
おのりよもあつていふ

されけりて海城は
作家よもあつていふ
んらよも金剛經に
るは女道又幻泡
れは是れをいふ
はるあつていふ
るよもあつていふ

